

決断—レムナントの力（ダニエル1：8-9、使徒1：14）

序論—正確な決断

▶ありがとうございます。たくさんのレムナントの皆さんが起こされています。特に韓国にも良いレムナントが多いですが、日本にもたくさんいらっしゃいます。親の事情が大変で勉強するのが難しいというレムナントも多いです。でも、自分で仕事をしながらお金を貯めて勉強するレムナントもいます。また、あるレムナントの事情を聞きますと、親の大変さを知って両親を助けようと、最高のエリート大学に行けるのですが、4年間の奨学金を受け取るために少しレベルを下げて勉強するレムナントもいます。私はそのような話を聞いたとき、心から涙が出ます。そのようなすばらしいレムナントがいらっしゃるのだなと。もちろん親が大変だから祈らなければならないということではありません。

▶まず、皆さんは、レムナントだけが持っていた力を持っていたきたいと思います。ダニエル1：8-9もあります。使徒1：14にも出てきます。皆さんはいまから何をするのか。まずいちばん最初が「決断」を下すことです。どのような決断なのでしょう。レムナントだけが持っていた力を回復しなければならないということです。答えは決断から始まります。偶像のささげものになっていた食べ物は、一切食べないと心を定めたのです。ダニエルとその友人たちです。私たちは、神様の契約をもって勝利するという決断です。この決断こそが答えの始まりとなります。使徒1：14、初代教会が異端の濡れ衣を着せられましたが、その初代教会に行けば殺されます。しかし、そこに行って世界福音化をするという決断を下しました。これがレムナントにとっては答えの始まりです。

▶2講義目に何をするかということを話しますが、それはさておいて、今日は決断から初めていただきたいと思います。私はだまされずに契約をもって進む中、日本を福音化しなければということです。どのような決断なのでしょう。日本でレムナント運動を回復しようということです。

▶まずは決断すると言っても、正確な決断を下すことがとても重要です。間違った決断を下すと間違った結果をもたらします。私が子どものときに下した決断があります。ところで、その決断がすべて答えとして来ています。教会が復興することはできない、伝道は難しいと言っていることに対して、それは違うということを見せようという決断です。教会が力がなく、貧しいと言っているが、そうではないということを示そうと決断しました。私は伝道運動だけをする。そう決断しました。その通りに答えられています。そこで私はレムナント運動をしなければならない。そう決断しました。神様はそれに伴うものすごい答えを与えてくださり、そして、これからも答えを与えてくださると思います。今日、皆さんは、正確な決断を下してください。私の父は、いつも病気でした。だから、私は決断しました。福音によって霊的いやしと肉体的いやしが可能だということを見せてあげようという決断です。ところで、そのままいやしの働きとして答えられました。そして、30年前の決断があります。重職者がこのままだと大変だ。だから、重職者を生かそうという決断です。その通りに答えられました。

▶レムナントの皆さんは、この決断を下さなければなりません。いまメッセージが入っていく前に、いま考えることです。私の家と私と私の周りにあるいちばん大きな問題は何かということです。私はそれらの問題に対して勝つ証人にならなければ。その決断をしなければなりません。お分かりでしょうか。兄たちがとても変でした。私は兄たちの話よりも契約を握って進むと決断しました。誰でしょうか。ヨセフです。また、あまりにも成功しようという思いが強く失敗してしまいました。だから、私は新しく始める。そう決断しました。世界でいちばん大きな答えを受けました。モーセです。そうです。教会がとても大きな試みに会いました。私は教会を生かさなければ。決断しました。誰でしょうか。サムエルです。7人のレムナントが下した決断を、皆さんもつかんでいただきたいと思います。神の民は、契約だけを正確に握ることによって、誰でも答えられます。

▶重職者の皆さんも決断しなければなりません。私が死ぬ前に次の世代が福音運動できるように土台を作っていこうという決断です。それ以上に良いことはありません。決断してください。

▶牧師先生方は、もっと簡単です。私はすべてを捨て、ただ福音、ただ伝道をするということです。そうすると、その通りに答えられます。

▶大半の信徒たちは、小さな利益だけを考えます。私は神の力を宣べ伝えよう。そして、世界を驚くようにさせよう。ダビデです。そうですね。他の人はすべて自己利益だけを追いかけていきます。しかし、私は、神の力をもって次の世代を生かそう。大きなドタンの町運動を起こしました。エリシャです。そうです。私はただローマに至るまで福音化させよう。それだけを考えました。パウロです。

▶では、皆さんはどんな決断を下すべきでしょうか。

1) 福音の力 (使徒 1:1、3、8)

▶とても重要な部分なのですが、どんな決断を下すべきでしょうか。日本の 0.1%にも満たないこの国に福音の力を宣べ伝えよう。証人となろう。1:14 の中にいた人は、キリスト、神の国、ただ聖霊によって決断を下した人たちです。必ず答えられます。そうです。1:14 の決断によって継続的な答えに預かりました。レムナントの皆さんは、勉強の心配を一切しなくて結構です。その理由は、今回の集会にすべて出てきます。そして、皆さんは、未来の心配もする必要がありません。なぜなら、その理由が講義の中に出てきます。

(1) 根本的な (三位一体の神)

▶いま、福音の決断を下そうと思ったときに、根本的な部分から押さえていかなければなりません。どういふことでしょうか。サタンの権威を完全に打ち壊したキリスト。多くの災いを止めたキリスト。そして、地獄の背景を打ち壊したキリスト。この 3 つがこの日本の地に必要なものです。世界中で最高に発展した国が日本だと考えています。だから、この 1、3、8 の根本だけあればいいと思います。

▶それで、皆さんの祈りが必要です。

日本宣教時代を開こう。日本レムナント時代を開こう。常に祈ってください。日本さえ生かされれば、世界福音化はとてすみやかに行われます。

▶私は韓国人です。そこで、誰が何と言っても、私は、日本の方々が、世界福音化のために一番有利な方々であると思っています。私はそのように見えています。ですから、日本に来ている宣教師が重要で、日本人が重要で、日本に来ている韓国人も重要です。なぜなら、日本が福音化されれば、世界福音化はいちばんやりやすくなるということです。そして、日本の方を見ますと、本当に揺れないということを見えています。ということは、福音さえ入れば、世界福音化は可能です。私は日本に来るたびに、いつも驚いています。世界トップの発展している国だと思います。こういうことを言うと、その国に申し訳ないのですが、私は、アメリカに行くときとても不便です。ところが、日本に来るといろいろと便利です。だから、日本の人々に福音さえ入れば、日本は本当に最高の国家になれると思っています。だから最近はいつも祈っています。日本に地震が起きませんように。日本が沈没してしまったら大変ですから。そこで私たちは日本宣教時代を開こう。日本レムナント時代を開こうということです。なぜならキリストが必要です。その時、神の国であるみことばが臨まれます。その時、聖霊の御働きが起きるからです。それでは、根本とは何でしょうか。三位一体の神です。この力が見えてくるようになります。

(2) 目に見えない力 (創世記 41:38)

▶では、皆さんがこの力を持って、どのように進めばよいのでしょうか。レムナント 7 人は、目に見えない力を持っていました。分かるでしょうか。目に見えない大きな力を持っていたのです。

▶時間がありませんので、一人だけを例に挙げます。創世記 41:38 です。最初のレムナント、ヨセフです。王が見て驚きました。主の霊がこんなにも宿る力のある者を見たことがないと話しました。この者を総理にするのはどうかと言われました。力を指しています。決断をして契約を握っていれば、その力が現れるということです。

(3) 霊的サミット - 技能、文化

▶では、どのようになっていくのでしょうか。とうとう皆さんに重要な答えが与えられます。それは霊的サミットになるということです。大人も持つことができなかった霊的サミットになるということです。そうすると、勉強も心配することなく、ついてくるものになります。会社の問題も心配ありません。ついてくるものですから。皆さんがこの力を持っていればサミットになれるということです。ヨセフはとても幼かった。しかし、サミットになっていたのです。お分かりでしょうか。ダビデも少年ダビデでした。しかし、霊的サミットであったのです。そこで私が下した決断です。私は他のことはできないけれど、霊的サミットにはなれる。レムナントの皆さんもそうです。

2) 目に見える力 (危機、問題)

▶そうすると、目に見えらるるとも重要な力が現れます。いつでしょうか。皆さんに危機が来た時や問題が来た時に神の力が現れます。いま答えがなくても結構です。皆さんがこの契約を握っていれば、問題や危機が来たときにその力が見えてくるようになります。これが機会となっていきます。

▶一人を例に挙げます。子どものときに、この根本的な目に見えない力をダビデが持っていました。ある日、問題が生じたのです。戦争が起きてゴリアテが出てきました。しかし、簡単に倒すことができたのです。そうです。このような時刻表を迎えるようになります。

3) 未来の答え

▶この力が積み重なり、皆さんにとっては未来の答えとして現れてきます。間違いなくこうなります。

▶ですから、これからこの決断を下し、何をすべきでしょうか。

▶本論・正確な旅程

正確な旅程を進んでいけば良いと思います。これが皆さんがこれから受ける答えです。

1. 契約の旅程―何も心配することなく、どんな旅程を行けばよいのでしょうか。皆さんは、契約の旅程を進めば良いと思います。

2. (学業) タラントの旅程―いまから皆さんは、学業を心配することなく、神様から与えられたタラントの旅程を進んでください。

3. 学院福音化の旅程―そして、これから行くことは、学院福音化の旅程を進むことです。

▶この旅程を進むことによって、日本を生かすことができます。これはまず決断を下すことです。そうすると、神様は力によって働かれます。

1. 契約の旅程

▶では、契約の旅程の中でいちばん重要なことがあります。契約の旅程の中、まず決定する前に見つけなければならないことがあります。

1) Covenant-使徒 1:1、3、8

▶私の Covenant を見つける前に、Covenant 自体が何かということです。それは、使徒 1:1、3、8 です。これが契約です。日本に、誰も伝えることのできない Covenant を伝えなければならないということです。

2) Vision-使徒 1:14

▶これは、決定する前の段階でやることです。では、Vision とは一体何か。確実な答えを下すことです。何かをやる前に、日本を生かすために、神様が皆さんを召されたので、それが 1:14 の人々が集まったのと同じです。このマルコの屋上の間に集まったのは、勇気を出したのではなく Vision を見たのです。レムナントは福音の力を正しく持つなら、正確な旅程が見えてくるようになります。

3) Dream- 24 時間

▶では、Dream は何でしょうか。これは 24 時が可能な段階です。これは、皆さんが、日本の福音化の契約を確実に握りなさいということです。単なる夢で終わることなく、24 時描けるように Dream を見ることです。

4) Image- 25 時、永遠

▶そうすると、神のかたちが現れます。それは何でしょうか。25 時、永遠です。

5) Practice- 237 の国

▶そして、皆さんの最後の人生作品は何か。それは 237 です。これが契約の旅程を進む根本的な内容となります。

2. (学業) タラントの旅程

▶では、これから皆さんは、契約の旅程を進みますが、学業の部分はどうしたらいいのでしょうか。逃さずに必ず握っていただきたいと思います。皆さんが契約の旅程を握ることによって、必ずついてくる部分があります。

1) 福音の流れ

▶福音の流れが見えてきます。福音の流れが見える。日本には、すべてがあります。けれども、福音はありません。日本は、技術が優れています。しかし、霊的問題が多いです。日本には、立派な方々が多いです。しかし、福音を持っている人がいません。日本は、たくさんのが発展しています。ところが、霊的にはとても弱いです。お分かりでしょうか。

▶これが日本に伝える福音の流れであるということです。だから、私を召されたのだな。そこでレムナントの皆さんは、何かをすることよりも、契約を握っていくことです。

2) 言葉の流れ

▶この契約を握ることで、福音の流れが見えてきます。では、福音の流れが見え、黙っていたら、次に見えることは何でしょうか。みことばの流れが見えます。何をしようではなく、黙って福音の流れが見えるならば、みことばの流れが見えてきます。これから既存世代、大人も重要だが、レムナントが起こさなければなりません。レムナント 7 人は、福音とみことばの流れを見ていました。そうです。

3) 伝道の流れ

▶では、その時から出てくるものがあります。それは日本で私は何をすべきかという伝道の流れが見えてきます。

4) 祈りの流れ

▶そうすると、皆さんのタラントも見え、祈りの流れも見えてきます。そこで大人の中で、この流れが見えてこない方は、他のことをやってはいけません。もしも牧師先生方の中で、この流れが見えなければ、他のことを絶対やってはいけません。歴史的にユダヤ人が7回の大きな災いに遭いましたが、大人たちがこの流れを全部逃していたからです。どれほど簡単なものなののでしょうか。なんのためにそれを逃すかと言うと、話したいことはさんざんありますが逃したのです。でも、驚くのは、レムナント7人が見つけていたということです。不思議なことでしょう。だから、ここに座っているレムナントが起きて、日本と世界を生かしていけると確信しています。

5) ただ

▶このときから私の学業もすべてのビジネスも、すべてが「ただ」ということに入っていきます

6) 唯一性

▶そして、皆さんの未来は唯一性というものになっていきます。

7) 再創造

▶これから皆さんの学業、産業、これらが再創造されていきます。

▶これがタラントの旅程です。絶対に逃してはなりません。今日こちらにいらっしゃるすべての方々、レムナントは、すべての心配を捨ててください。なぜなら、心配事ではありません。皆さんが心配していることが本当に心配事なのかどうか、神様に質問してみてください。そうではありません。皆さんは、無駄なことに対して苦勞しています。絶対に心配ではありません。心配すべきことがあるなら、たった一つしかありません。それで勝利すると思います。私たちの心配は一つだけです。どうしたらこの日本に降り掛かってくる災いを止め、世界福音化をすべきかということです。この心配だけしてください。他の心配事は、すべて間違っている心配です。確実にそうです。間違っている心配は、成功することができません。心配も正しいことを悩むべきだと思います。そこでパウロは、2つの悩み事について話しました。世の中の悩み事は、滅亡に至るといいました。神のための悩み事は、永遠なるいのちに至ると話しています。何事も心配せず、どのようにすれば、この日本を生かし、世界福音化をすべきか。それ以外は、心配することはありません。

▶いまタラップンでは、あちこちに教会を建てたり借りたりしています。これからたくさん買うと思います。なぜなら伝道者が動くところにメッセージが成就されなかった場合がないからです。そうすると、自然と心の中にお金の心配が出てきます。しないでください。主がすべてなさるからです。何をでしょうか。光の経済を備えておき、そこ主が働かれると思います。私は確信しています。私は、釜山にソウルに教会堂を立てた後に、人生を終わりにすべきではないかと思っています。これが私の祈りです。次世代や237カ国の方々が、これが福音か！ということを見えて分かるように残さなければならないでしょう。レムナントたちがその教会を見て、なるほど、祈りはこうするものなのだなということを。そして、伝道はこうのようにすべきなのだな、ということを残していくのが私の祈りの課題です。なぜなら、それは神のみこころであるからです。だから、光の経済が臨まれることを確信しています。すべての信徒たちは、これから変化していかなければなりません。なぜなら、このレムナントの方々が起こされるからです。いまメッセージが理解できない、いま答えがなにもないとしても結構です。結論的には、レムナントの学業を通して再創造を起こされるからです。絶対に逃してはいけません。

3. 学院福音化の旅程

▶それでは、学院福音化の旅程とは何でしょうか。よくご覧ください。神様は、テモテ、シラス、テキコのようなレムナントを召しました。

1) テモテ

▶その中で代表的な人物がテモテです。テモテを通し、神は多くの働きをしましたが、パウロをご覧ください。

2) 使徒 17 : 1、使徒 18 : 4、使徒 19 : 8

▶使徒 17 : 1、会堂に入りました。使徒 18 : 4、会堂に入りました。使徒 19 : 8、また、会堂に入りました。

3) ローマ福音化

▶そして、次にしたことは。

▶ローマの福音化をしたのです。これが皆さんの学院福音化の旅程となります。決断を皆さんがされたときに、必ず主がこれらを行っていきます。

結論 - 未来を見た決断

▶何をでしょうか。これからただするのではなく、未来を見た決断を下してください。1つ目は何でしょうか。正確な契約を決断することです。ただ福音！正確な旅程を決断してください。ただ福音化！私が福音を持っているのなら福音化になっていきます。そして、未来を見た決断です。

▶日本 RT 時代、世界 RT 時代

これは何でしょうか。日本レムナント時代を開こうということです。そうです。日本レムナント時代を開こう。日本のレムナントが起きて、全世界のレムナント時代を迎えるのです。決断前に確認することは、神のみこころであるということです。ほか入りません。すべては契約の決断を下すべきです。日本を福音化しなければならないために、その旅程の決断です。ですから、旅程というものは、ただついていくだけで結構です。そして、ラストは、未来の決断です。

1) 申命記 6 : 4-9

▶申命記 6 : 4-9 です。このようになるように決断することです。日本の全レムナントが起きてカナンを征服していけるようにしてあげなければなりません。

2) I サムエル 7 : 1-15

▶I サムエル 7 : 1-15 です。日本にレムナントが起きて、すべてのミツパ運動を開いていくことです。

3) II 列王 6 : 8-24

▶II 列王 6 : 8-24 です。皆さんとレムナントが起きてドタンの町運動を開いていくことです。この3ヶ所には特徴があります。よく知っている部分なのですが、特徴をつかむべきです。エジプトから出てきてカナンの地へ向かいます。ここで特徴は何でしょうか。すべての暗やみの勢力を打ち壊していく、霊的な光を放ったということです。

4) イザヤ 62 : 6-12

▶イザヤ 62 : 6-12 です。見張り人の運動を起こすということです。

5) 使徒 17 : 1、使徒 18 : 4、使徒 19 : 8

▶すべてのレムナントを起こし立てて、会堂運動をしていくということです。

6) 使徒 19 : 21、使徒 23 : 11、使徒 27 : 24

▶使徒の働きの6番目です。すべてのレムナントが起きて、ローマの福音化運動を起こしなさい。これらの決断です。必ず来るようになります。

7) 崩れた教会回復

▶そして、最後は何でしょうか。日本のレムナントが起きて全世界の崩れた教会を回復していくことです。いまから始めていただきたいと思います。

▶どのようにするのかは、2 講義目にお話ししたいと思いますが、まず分かった上で決断をすべきです。間違った決断を下したヨーロッパ教会は門を閉ざしました。間違った決断をしてはいけません。間違った決断をしたアメリカ教会も門を閉じています。間違った決断を下した韓国教会も、教会の門を閉じています。韓国教会のことは、学ぶ必要は一切ありません。学べば大変なことになります。日本の方々は、韓国教会を学ぶのではなく、聖書に戻るべきです。そこでレムナントが立ち上がって、全世界の教会を回復させなさい。その力は誰が与えられるのですか。主から与えられるのです。

▶香港のある新聞記者が私に文字メール、手紙を送ってくださいました。「先週の先生のメッセージを聞いて、ほんとうにその通りだと思って、感謝の気持ちを込めて手紙を送ります」と書いてありました。私はタラップンのメンバーではないと明かしました。新聞記者です。「いま世界中の宣教師の方々がやっていることはでたらめです」。タラップンのメンバーではない記者さんが、「ただタラップンだけが伝道をしています」ということでした。その記者が送った言葉です。私が驚いたのは、その後に語った言葉です。タラップンのメンバーではないのに、その後に書いてあったことを見てびっくりしました。「牧師先生の言う通りに、レムナントが起こされなければなりません。私も一緒にお祈りします」。このような手紙でした。私たちのメンバーではありません。その方がそう言ったから良いというわけではなく、その通りになると思っています。今日、1 講義目を聞いて、すべてのレムナントは決断してください。

▶最後です。皆さんが決断を下す時、どんなことが起きるのでしょうか。皆さんが決断する時、聖書箇所、1 箇所だけ書きます。

(1) ダニエル 10 : 10-20

▶ダニエル 10 : 10-20 です。皆さんが正しい契約を握って決断するとき、神は主の使いを遣わし、神の働きを成し遂げるということです。天使の頭が来て、こう語りました。どのように語りましたか。あなたが決断したその日、「私が来た」ではなく、決断したその日から、「私は遣わされた」と表現されています。間違いありません。今日、皆さんが決断する時、神が主の使いを遣わされます。

(2) 使徒 19 : 21、使徒 23 : 11、使徒 27 : 24

▶もうひとりだけ、例を挙げます。パウロの決断です。ローマも見なければならぬ。パウロの決断です。正確な決断を下したら、神様がこう語りました。23 : 11 のように。「恐れるな、パウロ。あなたはローマに行っても伝えなければならぬ」。危機に会った時。「恐れるな、パウロ。あなたはカイザルの前に立ちます」。

▶私はどんなことをも落胆しません。なぜなら、契約を信じているから、レムナントは起こされるはず。宣教師の方々の、その労苦は絶対に無駄にならないと思っています。そして、皆さんがされたその労苦ひとつひとつは、大きな実を結ぶと思います。そして、このように次世代が起こされています。私は世界中の宣教師の方々にお会いしていますが、日本に来ている宣教師の皆さんが、本当によく伝道をされていると思います。いまのまま、その通りにこれからもしていただきたいと思っています。主は、必ず御働きをなさいます。また、いろいろと気分の良いことがたくさんあります。宣教師の方々と、その子どもの方々が、本当に驚くほどによく育てられているということです。私は、佐土原先生や秋山はじめ先生を見ると不思議なくらいです。ああ、なるほど、あの方々が日本人なのだなと。昔から今日に至るまで、一度も揺れたことはありません。私たち本部の方で、その日本人の方々に、なにか特別にしてあげたことはありません。でも、なんとすばらしいことに韓国語も本当によく話されています。韓国語は世界で一番難しいと思います。甘いとか甘ったらしいとか甘辛いなど、甘いという言葉においてもいろいろな類語がたくさんあります。複雑です。日本の言葉や英単語を見ても、そんなに複雑ではありませんが、韓国語はとても複雑です。だから、私の見る限り、これからも韓国では、ノーベル文学賞は出てこないと思います。なぜなら、韓国語を正しく分析することができる人がいません。でも、佐土原先生や秋山はじめ先生は、本当に韓国語を韓国人よりもよく知っています。だから、本当に期待するし、そうなると思います。

▶そして、日本レムナント大会に来るたびに感じるのが、たくさん人数が増えたこともいいのですが、内容が非常に良くなりました。宣教師の皆さんの労苦、重職者の皆さんの献身が絶対に無駄にならないと思います。なぜなら、この答えは必ず来るからです。ですから、皆さんのあれこれ心配するという声は、私の耳には何の価値も感じることはできません。人々の心配する声に、私は全く関心ありません。なぜなら、間違っているからです。皆さんを通してこの契約がレムナントたちに成就されると思います。

(祈り)

神様、感謝します。重要な始まりとなりますように。今日、私たちのレムナントが決断する時間となりますように。すべての重職者が決断するときとなりますように。もう一度、すべての宣教師の方々が時代的な決断をすることができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。